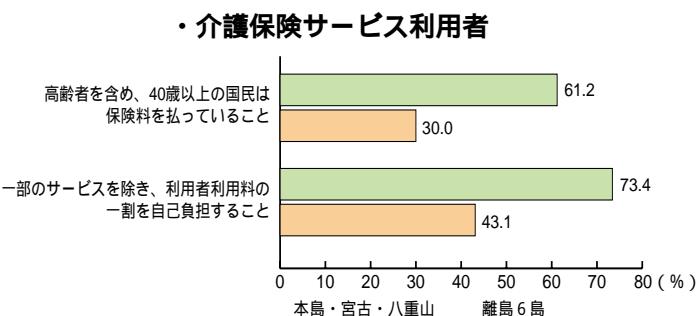
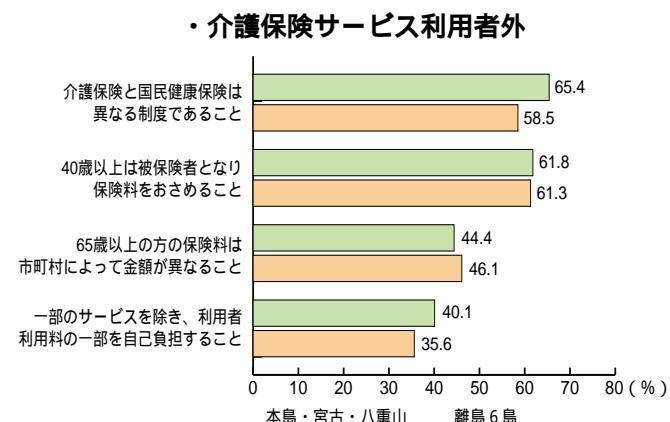
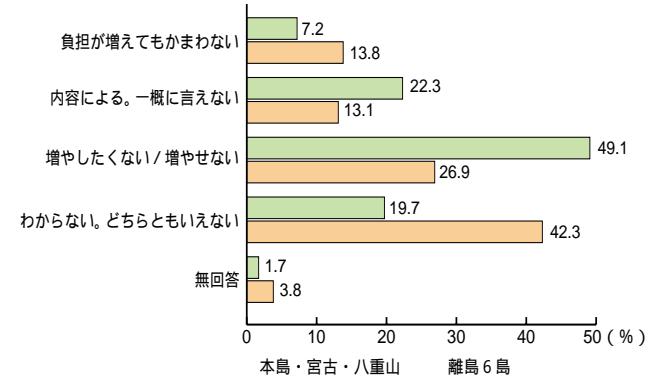


3.介護保険制度の周知



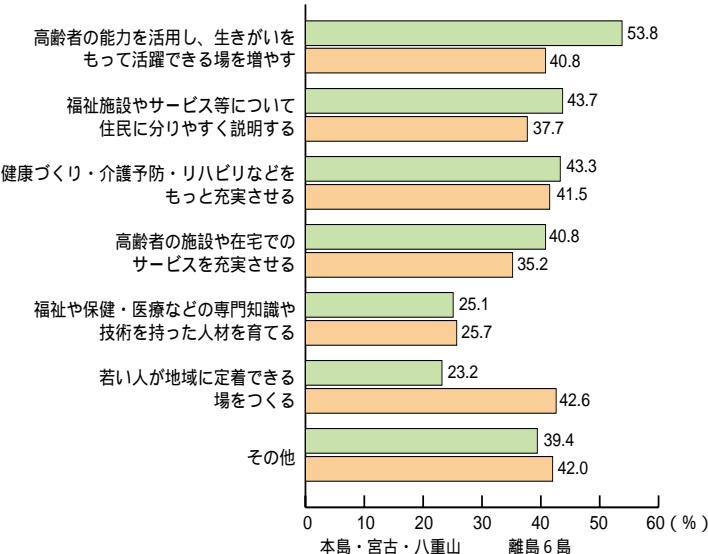
「保険料が市町村によって異なること」や「一部サービスを除く利用者の1割自己負担」という基礎的知識についてもまだ周知が足りないことが分かります。

4.介護保険料の負担



介護保険料の負担増加について、「負担が増えて構わない」と肯定的なのは、少数派です。

5.豊かな長寿社会に向けて希望すること



本島・宮古・八重山地域では「高齢者の能力を活用し、生きがいを持って活躍できる場を増やす」が最も多く、離島6島では「若い人が地域に定着できる場をつくる」ことが最重視されています。

県は、今回の調査結果を踏まえ、真に豊かな長寿社会が実現するよう検討することとしています。

今後の行政サービスの課題

- 高齢者がいきいきと活躍できる地域や社会の実現
- 若年者から高齢者まで、健康新たに、介護予防に住民自ら取り組めるよう、住民の意識づくりや行動をサポートする
- 地域力アップのための住民・地域・事業者・関係団体・行政のパートナーシップの構築と向上

よりよい介護の実現を目指して

沖縄県介護保険総合実態調査の結果から

平成12年に介護保険制度がスタートしてから、4年が経過しました。県では、制度の利用状況や運営の実態、高齢者福祉をめぐる環境条件等を把握するため、平成15年度、沖縄県介護保険総合実態調査を実施しました。

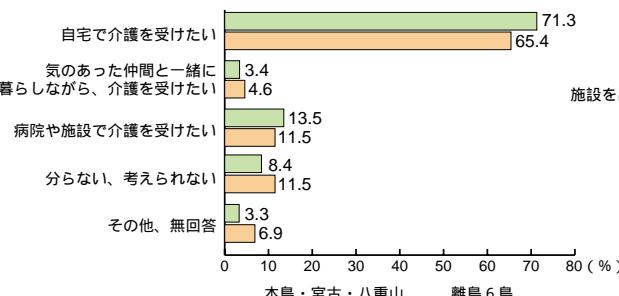
調査は県内15市町村（那覇市、西原町、沖縄市、読谷村、名護市、国頭村、平良市、城辺町、石垣市、伊平屋村、伊是名村、粟国村、渡名喜村、渡嘉敷村、多良間村）を対象に、20歳以上の県民3,600名、介護保険利用者約2,662名を対象に実施。

八十歳以上の高齢者割合が高い本県の場合、人口に占める六十歳以上の高齢者数割合は全国平均を下回っていますが、八十歳以上の高齢者割合は全国平均に比べて介護保険の認定者割合が高くなっています。介護保険の認定者割合が高くなるほど高くなる傾向にあります。このため、本県では全国平均に比べて介護保険の認定者割合が高くなっています。

全国平均を上回る本県の介護保険適用率、介護サービス費用本県では、介護保険サービス利用者割合（六十五歳以上人口比）は、平成十四年十月時点で、一月あたり約二万四〇〇〇円／月となり、全国平均（一万八一二円／月）を三〇%以上、上回っています。また、六十五歳以上高齢者一人あたりの介護サービス費用支給額は、平成十四年十月時点で、一月あたり約二万四〇〇〇円／月となり、全国平均（一万八一二円／月）を三〇%以上、上回っています。全国一高い保険料以上のことから、本県の月額平均保険料は四九五七円となっています。全国平均三二九三円を大きく上回り、全国一高い保険料となっています。

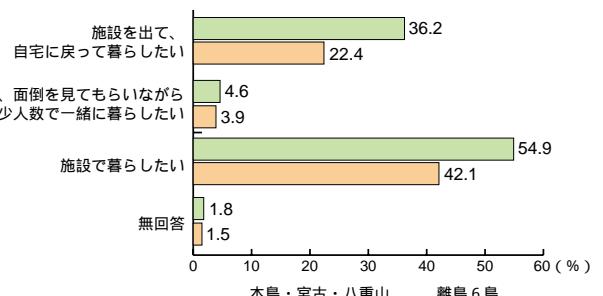
1.介護を受けたい場所

・居宅サービス利用者



7割以上の方が、「自宅で介護を受けたい」と答えています。

・施設サービス利用者



現在施設サービスを利用されている方でも「施設を出て、自宅に戻って暮らしたい」と考えている方が少なくありません。

2.現在求めているもの・あったら助かること（複数回答）

- 誰かが訪ねてきてくれ、話し相手になってくれる（35.4%）
- 外出時の送迎や付き添い（28.5%）
- 体の機能回復や生活のための訓練の機会（24.6%）
- 何かあった時の緊急の連絡体制（20.8%）
- 台風後の畠上げ、年末の掃除など季節の手伝い（20.0%）
- 家の近くなど、気軽に集まっての食事やおしゃべり（19.2%）
- 定期的な見守り・声かけ（19.2%）



お問い合わせ
県長寿社会対策室（介護企画班）
TEL.866-2214 FAX.862-6325